

門川町教育研究所だより



ふれあい

第5号 令和3年11月発行
発行所 門川町教育研究所
所長 新原とも子
TEL 63-1566
五十鈴小学校内(教育相談室)

研究員によるタブレットPC活用実践研究授業を実施しました。

先月号でお知らせした実践計画による研究授業が終了しました。今回はその一部として門川中学校尾曲研究員の授業実践を紹介したいと思います。(紙面の都合上、代表1名のみです。)

11月18日(木) 尾曲研究員(2年1組英語 Our Project4「夢の旅行を企画しよう」)



この授業は2年生がタブレットPCを活用して、自分たちの夢の旅行について情報収集した写真や絵などをグループで確認しながらプレゼンテーションを作成し、次の発表に備えるという授業でした。情報活用能力をどのように育成していくかという視点をもって検証していきました。

今月から「研究集録」用原稿と県大会発表プレゼン作成に入ります。

本年度の研究活動も11月の研究授業による検証作業が終了し、研究のまとめの段階に入ります。現在は、研究集録に掲載する原稿を分担して各自で作成中です。12月には集約して修正等を加えて完成させる予定です。また、2月4日(金)にオンラインで実施予定の「研究発表大会」用の発表プレゼンの作成にも取り掛かる予定にしています。全員で力を合わせて成果を挙げたいと思います。



保護者の皆様へ～心に残った本の一節！紹介

～「いのちある言葉」～ ゆたかな青春の日のために



《みずからを成長させることのできないものは、他をも成長させることはできない。》

これは18世紀を代表する思想家ジャン・ジャック・ルソーの言葉です。少年少女もいずれはおとなになり、親になり、後輩は先輩になります。そのようになる立場が、どんな人にもいずれは訪れるという意味で、この言葉はしっかりかみしめておかなければなりません。

この言葉は、後輩として先輩を、また生徒として師を、批判する言葉として使われるものではありません。

自分の発言や、自分の行動を裏付けるものとして、この言葉が厳存しているかどうか。自己の行動をいつも反省する標識に、これを心の中に掲げているかどうか。それを見極めるためのものだと思うのです。

【引用文献：いのちある言葉(発行：童心社)】

子どもの教育や子育てで、悩んでいませんか？

困った時には、教育研究所「教育相談室」に気軽に電話を
してください。来室相談も受け付けています。

相談電話(門川町教育相談室)
Tel・Fax 63-1566